

【平原ゾーン】
 (アフリカ)
 アフリカなどの平原を再現し、
 ライオン等を間近で観覧できる
 ようにします。



【ウェルカム動物】
 3箇所の入口ゲートに順次
 お出迎いの動物を展示します。

千葉市動物公園リスタート構想

動物公園が生まれ変わります！
 平成26年3月末に開園50周年に向けた長期構想を策定しました。
 動物の生態や行動の特徴がわかりやすい「特徴展示」や、
 同じ地域・環境に生息する動物を同時にみる事ができる
 「複合展示」を導入します。

【子どもゾーン】
 モノレール駅前の遊園地跡地を
 ポニーの乗馬やお弁当広場、
 動物たちとのふれあいの場など、
 子どもたちのための夢の空間とします。
 また、学習拠点となる
 「ビジターセンター」を整備します。

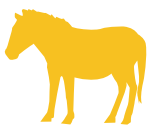


動物の『生息環境』『地域』を組み合わせた
 「テーマ」で園内を4つのゾーンに再整備します

7ゾーン+大池+遊園地⇒4ゾーン (生息環境&生息地域別)+大池

旧ゾーン	環境	地域・テーマ	配置する動物
モンキーゾーン	森林ゾーン	アジア アフリカ アメリカ	オランウータン アルマジロ ナマケモノ など
動物科学館			
子ども動物園			
小動物ゾーン	平原ゾーン	アジア アフリカ アメリカ	ライオン モウコノウマ キリン など
家畜の原種ゾーン			
草原ゾーン	草原ゾーン	草原ゾーン	草原ゾーン
鳥類・水系ゾーン	湿原ゾーン	水と空	ビーバー マレーバク ヘビクイワシ など
遊園地	子どもゾーン	ふれあい体験	ポニー ヤギ テンジクネズミ など
	ビジターセンター		

動物科学館も変わります！
 子どもから大人までを対象とした学習施設
 「なんでも動物館」として展示内容を見直します
 また「動物絵本コーナー」や
 「動物に関わる音楽コーナー」の設置
 動物に係る絵画や工作などのイベントを開催
 ※大池は大型ビオトープとして活用します。



構想実現に向けて

《基本理念》

『市民に身近な動物園（私たちの動物園）』としての存在と
『都市の活性化につなげる集客観光施設』として再生します。



《基本方針》

- ①他園にない独自性 ②非日常感に包まれた空間 ③動物と一緒に楽しく遊び、学ぶ
- ④自然・生命の大切さを伝える ⑤新しい発見と驚きと感動との出会い ⑥来園者と動物の輪をつくる



5つの取組目標により、構想を実現化していきます

目標1 特徴のある動物展示の実現

目標2 教育・普及活動の充実

目標3 国際的動物園への脱皮



目標4 集客力の向上

目標5 持続可能な運営体制の構築



重点取組

- 1 肉食獣の導入
来園者からの要望が高く、これまで配置していなかった肉食獣（ライオンなど）を新たに導入します。
- 2 ウェルカム動物の配置
来園者をお迎える正門、西門、北門付近に「ウェルカム動物」を配置し、エントランスから動物展示までの距離を縮め、動物園らしさを全面に出していきます。
- 3 モノレールからの存在感アップ
千葉都市モノレールの車窓から動物園の様子がわかるように、動物や施設の再配置を実施するとともに、本園と直結する動物公園駅から動物園の雰囲気づくりに取組めます。
- 4 お客様目線でのおもてなし
「また来よう」と思っていただけよう、おもてなしの心を持って、千葉市の集客施設としてふさわしい接客を心がけます。
- 5 動物ワールドの創出
動物の展示だけでなく、動物にかかわる様々な情報を集め、発信するとともに、地域の学校や各種団体、市民の協力を得て、動物に関するイベント、展示を積極的に実施します。
- 6 「種の保存」に世界レベルで貢献
種の保存計画を策定するとともに、絶滅危惧種繁殖のため、国内外との連携を強化し、国内、園内での繁殖に貢献します。

象徴的な取組みについて、重点取組に位置づけ早期に実現していきます！